

令和6年6月6日(木)

# 令和6年度 第1回陸別町学校運営協議会 学校説明資料

## 陸別町立陸別小学校



1 北海道教育の目指す姿（北海道教育ビジョン）

基本理念

「自立」「共生」

2 十勝教育の目指す姿（十勝管内教育推進の重点）

～十勝らしい一人一人の学びの実現～

- (1) 子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進
- (2) 学びの機会を保障し質を高める環境の確立
- (3) 地域と歩む持続可能な教育の実現

3 陸別町教育の目指す姿

～「陸別の子は陸別で育てる」～ 地域とともにある学校づくり

- (1) 家庭は温かく
- (2) 学校は楽しく
- (3) 地域は明るく

4 陸別小学校の教育目標（平成31年2月改訂）

～「かしこく」「やさしく」「たくましく」～

5 目指す学校像

誰もが通いたい学校、働きたい学校  
～主人公は68人の子どもたち～

6 目指す児童像

- (1) かしこく
  - ・ 既習の知識・技能を活用する（知・技）
  - ・ 根拠を明確にして、自分の考えを説明する（思・判・表）
  - ・ 学び方を見通し、選択する（学・人）
- (2) やさしく
  - ・ 自分のよさを知り、自分を大切にすること（知・技）
  - ・ 友達のよさを見つけ、認め合う（思・判・表）
  - ・ 思いやりをもって人に接する（学・人）
- (3) たくましく
  - ・ 基本的な生活習慣を身に付けている（知・技）
  - ・ 健康・安全に向け、適切に行動する（思・判・表）
  - ・ よりよい生活を自主的に形成する（学・人）

## 7 本年度の経営の重点

- (1) 「陸別の子は陸別で育てる」（保小中連携のさらなる推進）
  - ・ スタートカリキュラムの充実による、保小の円滑な接続
  - ・ 陸別町小中一貫教育推進委員会による小中一貫教育の推進
  
- (2) 子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進
  - ① 新しい時代に必要となる資質・能力をはぐくむ
    - ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実による授業改善
    - ・ 単元配列表を活用した教科等横断的な学習の推進
    - ・ 客観的なデータを基にしたショートスパンでのPDCAサイクルの確立
    - ・ 個々の児童の困難さに応じた指導内容や指導方法、支援体制の工夫
  - ② 豊かな人間性をはぐくむ
    - ・ 「学びに向かう力、人間性」を育成する教育の充実
    - ・ 全校体制による組織的な発達支持的生徒指導の推進
    - ・ 学校図書館を活用し、本に親しむ指導の充実
  - ③ 健康でたくましい体をつくる
    - ・ 健康な生活に関心をもち、ヘルスリテラシーを高める指導の充実
    - ・ 新体力テスト結果の活用・分析による体力向上の取組の充実
    - ・ 学校給食、食育掲示板を活用した食育の推進
  
- (3) 学びの機会を保障し質を高める環境の確立
  - ① 安心して過ごせる居場所をつくる
    - ・ 児童一人一人に寄り添うことによる不登校の未然防止、早期発見・早期対応
    - ・ 法に基づくいじめの問題の未然防止、積極的な認知、組織的な対応
    - ・ 避難訓練、安全教育等を通じた危機回避の指導の充実
    - ・ 全教職員による組織的なリスクマネジメント、クライシスマネジメントの充実
  - ② 専門性を向上し、働きやすい職場づくり
    - ・ 心理的安全性を確保し、情報共有しやすい職員室の雰囲気づくり
    - ・ ICTの活用による校務効率化の推進
    - ・ 服務規律保持確認日における研修機会の確立、面談、自己評価等による啓発
    - ・ 「自己診断シート」を活用した教員の主体的な学びの促進
  
- (4) 家庭・地域と歩む持続可能な教育の実現
  - ① 家庭や地域と連携して子どもの学びを支える
    - ・ 持ち帰りタブレットを活用した家庭学習の促進
    - ・ 学校便りや町広報誌、新聞等の活用による家庭、地域との教育活動の共有
    - ・ 学校評価による学校経営状況の公表
    - ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
  - ② ふるさと陸別への愛着を育む教育を推進する
    - ・ 「りくべつ学」を推進する教育課程の編成・実施・改善
    - ・ 育てたい資質・能力との関連を明確にした地域諸行事への参加

# 小中一貫研修部通信

第2号 5月15日発行 文責：陸別中 渡邊



## 第1回小中合同研修会

5月8日（水）に行われた小中合同研修会では、小・中の校種を越えて多くの意見交流をすることができました。

今年度の研究テーマは「主体的な学びのプロセスを育成する授業づくりをめざして」です。

子ども達は、主体的な学びを行うことができるのか？ 自らの学びをどのように行なっていけばいいのかを理解しており、行動しようとしているのか？ その過程（プロセス）を私達教師は、どのようにデザイン、アプローチ、コーディネートしながら育てていくのか？ そういった視点が必要になると考えられます。中心となるのは「子どもの状態や変容」であり、いくら教師が「いい授業を行なったな」と感じたとしても、自己満足に陥らず、客観的な視点で子どもを観察する必要があります。そこには、校種・経験年数・教科などは関係ありません。学習者の視点に立つて考えることが大切であり、私達教師も、昔は先生に教えてもらう学習者でした。その時の気持ちや感覚を思い出しつつ、研修に取り組んでいただきたいと思います。



主体的な学びを子ども達に促すためにも、まず私達が主体的に学んでいきましょう！



## 小中一貫合同研修サイト

この度、小中一貫合同研修を行ったデータ等を共有・保存し今後の研修をより円滑に行えるように、SharePointで小中一貫合同研修のサイトを作成しました。研修資料や研修部通信をそちらにアップする予定ですので、右のQRコードから、アクセスしてみてください。

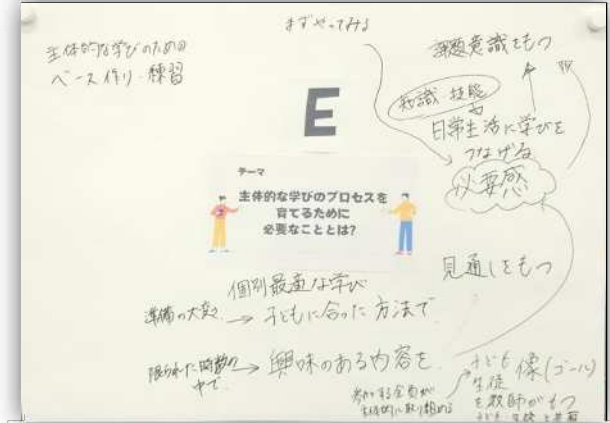
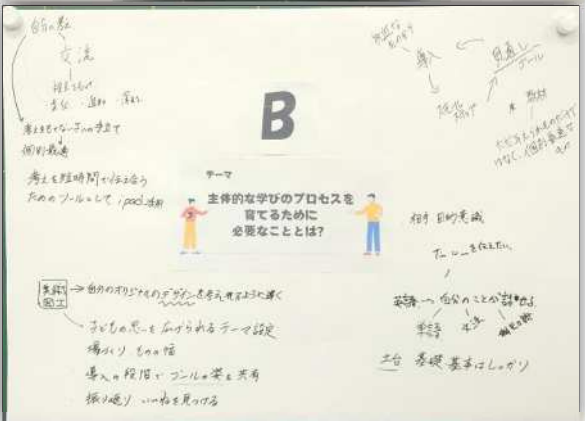
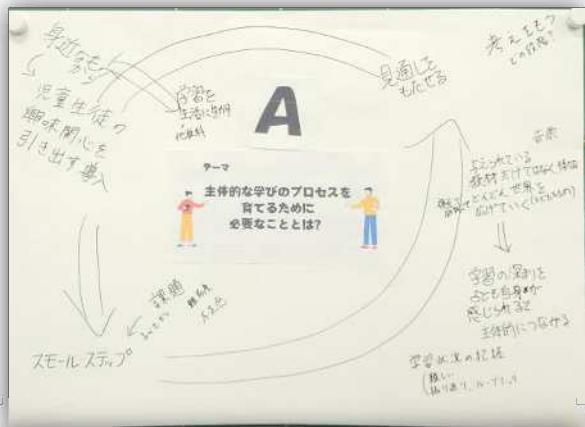
堀田研修部長の魅力的なスライド資料。Canvaを使って作成しています。小中一貫合同研修サイトからダウンロードできますので、もう一度ご覧いただきたいかたは、そちらからどうぞ！



見るためには Microsoft アカウントでのログインが必要になります。中学校の先生は ed、JHS どちらのアカウントでも見るすることができます。

## ワールドカフェでの話し合いの成果

「主体的な学びのプロセスを育てるために必要なこと」を話題とし、2回の交流を行いました。



## データ QR

こちらのQRコードにアクセスするとポスターのデータが見られます。今後の話し合いにお使い下さい。



今回、ワールドカフェで話し合いを行った後、プレゼングループに分かれて発表の準備を行いました。多くのグループで目指す授業についての方向性が、概ね決まったように感じます。

今後の予定は、6月11日（火）の研修にて、プレゼンの作成。7月11日（木）の研修でプレゼン発表及び指導主事からの助言をいただきます。プレゼン内容・助言を踏まえて、後期に授業を行ってもらうので、現在作成しているプレゼンは今後の方向性を決める大切なものになります。次回の研修時にスムーズに話し合いが進むように、事前の準備や今回欠席した方との情報共有をお願いします。